

令和5年度 学校経営方針

伊賀市立友生小学校

1 経営方針

○子どもたちが、自信と誇りを持って学び、笑顔があらわれる学校づくりをめざします。

学校は、子どもたちが安心して学べる場であること、そして、互いに認め合い、高め合うことによって、仲間とともに成就感や達成感を共有できる場でなければならない。こうした豊かな学びの場を創造することによって、子どもたち一人ひとりが自らのよさや可能性を自覚し、何事にも向上心を持って粘り強く取り組む意欲と態度を身につけさせたい。

○教職員が協働して学校づくり・地域づくりに努めます。

教職員の前向きな構えや雰囲気子どもたちの育ちを促すとの教育観に立ち、教職員一人ひとりの持ち味や専門性、自主性や創造性を発揮するとともに、互いに磨き合い、つながり合う教職員集団をめざす。そのために、常に「チーム友生」「チーム〇年団」を大事にする。

地域で働く者として、豊かな地域づくりに寄与する。

教職員の健康安全管理を適切に行い、教職員一人ひとりが健康で活力と向上心を持って教育活動に専念できる職場環境をつくる。そのために、総勤務時間の縮減に努める。また、会議の持ち方を工夫し、子どもと向き合う時間や教材研究の時間を確保する。具体的には、①水曜日を定時退校（最終 18:00）とする伊賀市全小中学校の取組を徹底する。②1ヶ月あたりの時間外労働が30時間以内となるように努める。③年休取得日数を年間15日以上とする。④勤務時間内に会議や研修会が終了するように協議事項の時間配分(時間設定)を行い、見通しをもった会議とする。⑤保護者との連絡、情報共有を効率的・効果的に行うために機器を有効活用する。

○地域とともにある学校づくりをめざします。

学校は地域コミュニティーの核の一つであり、家庭や地域社会と連携しながら互いに高まり合える関係を築くことが求められる。「学校づくりは地域づくり、地域づくりは学校づくり」を念頭に、地域の教育力を有効に活用するとともに、情報公開や関係者評価を積極的に推し進め、地域とともにある学校づくりに取り組む。また、子どもたちは、地域の人々と豊かにつながることによって、多くの大人たちから見守られ大切にされていることに気づき、期待される存在であることを自覚する。このことは、自己肯定感を高め、この地域、この学校で学ぶことへの自信と誇りにつながると考える。

2 教育目標

伝え合い 学び合い 共に生きる子どもの育成

3 めざす子ども像

伝え合い、認め合う子	よく考え、学び合う子
力を合わせ、やりぬく子	命を大切にし、夢や希望を育む子

4 努力目標（…具体的な取組）

(1) 学ぶ楽しさとわかる授業の創造【学力】

- ・自らの考えを持ち、伝え合う授業づくりに取り組む。…研究授業に学び合う、「めあて」と「振り返り」、【聴き方5か条、話し方5か条】、話し合いの進め方、理由・根拠をもとに表現、課題設定と展開の工夫、児童主体の学び合い、ペア・グループを活用した授業展開。
- ・学習に対する構えをつくる。…チャイムを意識、座る姿勢、学習(用具)の準備、挨拶・返事・発言、授業への集中、学習環境、家庭学習の指導・評価。
- ・確かな学力の向上をめざし、基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着を図る。…習熟度別少人数指導、個別指導、ICT教育の充実。
- ・学力調査を活かした授業改善に取り組む。…「みえ学Vivaセット」や「ワークシート」の活用、学力調査結果の分析、分析に基づく授業改善。
- ・特別な教育的支援を必要とする児童や、外国につながるのある児童一人ひとりの教育的ニーズを把握した上で、適切な指導に努める。…「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」「個別ファイル」の作成と活用。
- ・生活科や総合的な学習の時間を充実し、学び方や主体的な問題解決への態度を育成するとともに、学習発表の場や学年交流の機会を多くもつ。…活用の力、思考力、判断力、表現力、学習意欲の育成。
- ・言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするため、読書活動に取り組む。…朝読、読み聞かせの時間の効果的な活用。

- ・家庭学習の内容や仕方を見直し、自学自習の力をつけるために、家庭と連携した指導に取り組む。
…宿題の出し方や内容を共有、自学自習の力をつけるための家庭への働きかけ。
- ・スマートフォンの所持、ゲームやSNS等の使用時間と学力調査結果について保護者へ啓発を行い、保護者の理解と協力を求める。…実態に基づく提起と改善。
- ・保育所(園)・幼稚園との連携を図り、就学前からの連続した学びについて共有する。…授業や活動の参観。

(2) 生命・人権の尊重と豊かな人間性の育成【人権】

- ・子どもの生活実態やその背景にあるものを見つめ、課題を明らかにする。…捉える手立てを具体的に持つ、職員間での共有(ケース会議等)。
- ・一人ひとりの子どもの持ち味を生かし、自分に自信をもつことができる教育活動を創造する。…自己肯定感の高揚、日常の教育活動。
- ・出あいを大切にし、一人ひとりを大切にするなかまづくりに努める。…学年全員の名前を覚える、Q-U調査の活用。
- ・からかいやいじめなどの差別意識に気づき、ちがいを尊重する豊かな人権意識を育む。…差別を見抜く子ども、ちがいを大切にできる子ども・あたたかい言葉かけができる子どもを育て、学年集会の充実。
- ・障がいのある人や外国につながる人に対する差別や偏見をなくし、特別な支援や配慮を必要とする児童への正しい理解と認識を深め、共に学び生活する場をつくる。…差別事象に学ぶ、学年・全校での取組、多文化交流会、保護者への啓発。
- ・教職員自ら差別の現実によく学び、部落差別をはじめとするあらゆる差別撤廃を自らの課題とし、子どもたちや地域の実態に即した人権・同和教育を推進する。…人権総合学習・部習課題学習の推進、研修会の充実、幼保小中連携、地域における啓発活動。
- ・中学校区での小中連携を深め、地域の人権課題を明らかにするとともに、9年間を見通した人権教育カリキュラムの構築に努める。…緑ヶ丘中学校区人権・同和教育推進協議会等での連携強化。
- ・道徳教育を充実し、豊かな人間性を育む。…ねらいを明確にし、自分との関わりを大事にした授業実践。

(3) 基本的な生活習慣の育成とキャリア教育の推進【キャリア】

- ・気持ちのよい挨拶や返事をはじめ、清掃活動、言葉づかい、整理・整頓等の基本的な生活習慣を身につけさせる。そのために、児童会活動の一環としても位置づけ、主体的な取組につなげる。…特に「挨拶・返事」「ピカピカ清掃」「花いっぱい活動」を年間通して取り組む。
- ・異年齢集団(縦割り班)活動を通して、自分の役割を自覚させ、責任を持たせる。
- ・施設・職場見学や働く人の話を聴くことにより、望ましい労働観・職業観を育み、人としての生き方について考えさせる。…地域学習、出あい学習、ゲストティーチャーに学ぶ。
- ・将来への展望をもたせるとともに、それにつながる今を大切に、努力する意欲や態度を養う。
- ・児童が主体的・計画的に家庭での時間を過ごせるよう、家庭と連携した指導に取り組む。

(4) 健康・食育・安全教育(指導)の充実

- ・進んで運動に親しむ態度を養い、体力の向上に努める。…「新体カテスト」の実施・活用。
- ・自分の体や健康に関心を持ち、自己管理に努める。…「生活リズムチェック」の実施・活用。
- ・給食や食に関する指導を通して、望ましい食習慣を身につける。…食に関する指導の充実、食べることの重要性に着目した授業、学校給食の役割を伝える、野菜作りを給食に活かす。
- ・安全教育(指導)を徹底し、事故を未然に防ぎ、健康を守るための対策に万全を期す。…危機管理意識の向上、廊下歩行。
- ・「自分の命は自分で守る」という視点を基本においた体験的な防災教育(学習)を進める。
…自ら考え行動できる防災訓練・防犯訓練の実施、「防災ノート」の活用。

(5) 地域とともにある学校づくり・組織として信頼される学校づくり

- ・学校(学年・学級)通信やホームページを通して、学校の教育方針や子どもたちの活動の様子を具体的かつタイムリーに知らせる。
- ・保護者に対して、学級・地区懇談会や育友会行事・研修会・講演会への積極的参加を呼びかけ、その参加率のアップに努める。…学力向上につなげる家庭との連携強化など。
- ・地域素材の教材化(郷土学習)と地域人材の有効活用に積極的に取り組むとともに、協力者へのフィードバックを行う。
- ・保護者アンケートを実施し、保護者からの評価を教育活動に活かす。
- ・学校関係者評価を実施するとともに、学校運営協議会制度を学校運営に活かす。
- ・信頼される教職員であるために全職員が服務規律を遵守し、継続してコンプライアンス・ミーティング・職員研修に取り組む。